

神奈川ウォーキング参加 平成 22 年度—13

愛川町田代から 志田峠を越えて 地形見聞

日時 : 平成 23 年 2 月 19 日 (土) 本厚木駅 9:20 集合 9:50 バス

コース: 本厚木駅<バス>→半僧坊 10:45→勝楽寺→平山橋→大矢酒造→残草道→馬渡橋→上原道標→上原道祖神→三増合戦碑 {昼食} →<東名厚木 c c>桶尻の高地旗立松→中原展望→中原つつじ山→志田峠→朝日寺→河川争奪地形 I →三等水準点 5159→日比野分水嶺→河川争奪地形 II →服部牧場→真名倉坂・真名倉→日向橋→顕妙寺→半原久保→河成段丘→半原神社→原下水道路トンネル→馬渡バス停 16:50→本厚木駅 17:30 25,800 歩 16.8km (伊藤)

参加者: 山岡光治 (案内)、吉越 (L) 他会員 21 名、ゲスト 1 人を含め、総計 23 人

- ・2月18日(金) 予定していたゴルフが雨で中止、来週から法要で山口帰郷の準備も終え、KWC2月予定「山岡先生地形探索」を見て、急遽参加申し込みした次第。
- ・愛甲郡愛川町は神奈川県中央北西部にあり、相模川と中津川に挟まれたヒョウタン形の町で、面積3.4km²、人口4.2千人の町。大山の北西部にある半原盆地で米作に向かない地形で、養糸・製糸・燃糸産業が盛んであった。燃糸の動力としての水車や横須賀海軍施設への貴重な水の供給源の水で栄えた町。(山岡先生資料による) 東名厚木 c c と中津川 c c が近くにあり、津久井湖の近くまで来たとは今回の地形見聞ウォーキングで初めて知ることが出来ました。「地形は川によって造られ、川によって壊される」を学習しました。ポイントでの詳しい説明で地形形成を楽しく理解することが出来ました。山岡先生有難う御座いました。

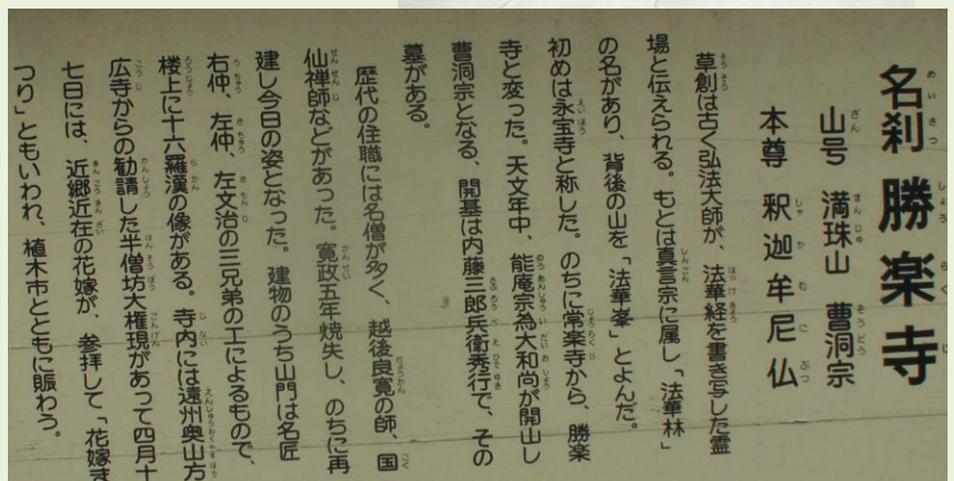


←本厚木駅



①勝楽寺

1544年開山: 曹洞宗





山門と大銀杏・庭園がきれいで枝垂れ紅梅と
蠟梅両方咲いていました。



②平山橋



③中津川神社



←中津川神社は12世紀の後半、内籙氏居を基に地元氏家により建立され「孤嶽を残し中洲となって、洪水の被害を受けたこと無し」との説明有り。

田代・上河内で中津川が蛇行し膨れた所に在り、「**残草**」の南麓に位置する。大昔は中津川の氾濫蛇行浸食で残草・中津川神社・勝楽寺は其々台地になって現在に残に至る？・・・**地形が語っています**・・・

④大矢酒造

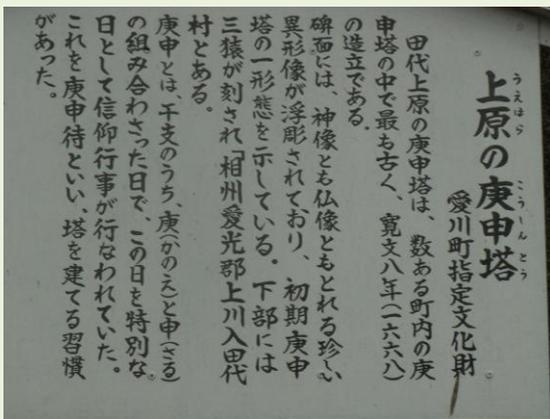
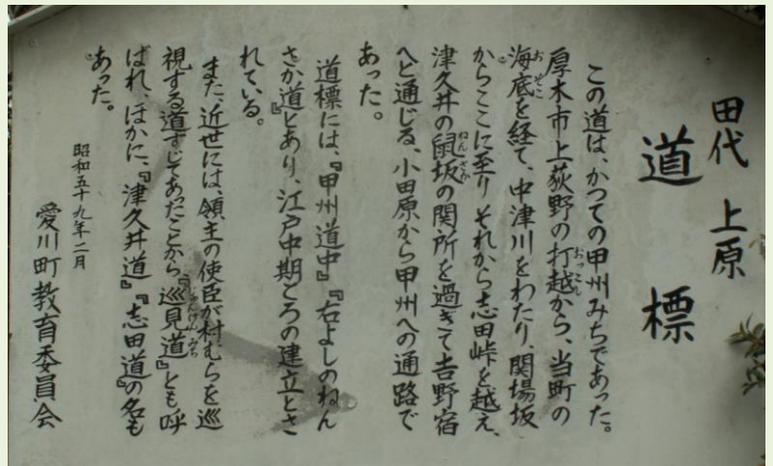


↑しべ山坂を上り「上原」へ、<残草>を高台から眺める

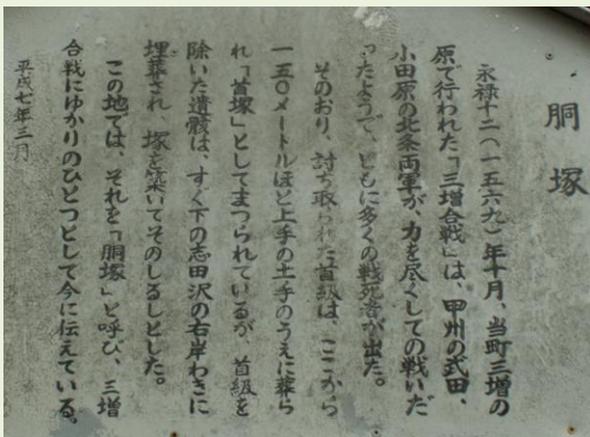
↑創業1830年で現在8代目。特別純米酒「**蓬萊美山錦**」燗をつけて美味しいとの言でしたがやはり冷で！（今年1月製精米度60% \times 1、365）を買いました。美味しい湧水で醸造されております。



↑「残草」を眺める



↑道路脇の「庚申塔」と「蛇塚」(何かに似ている) →

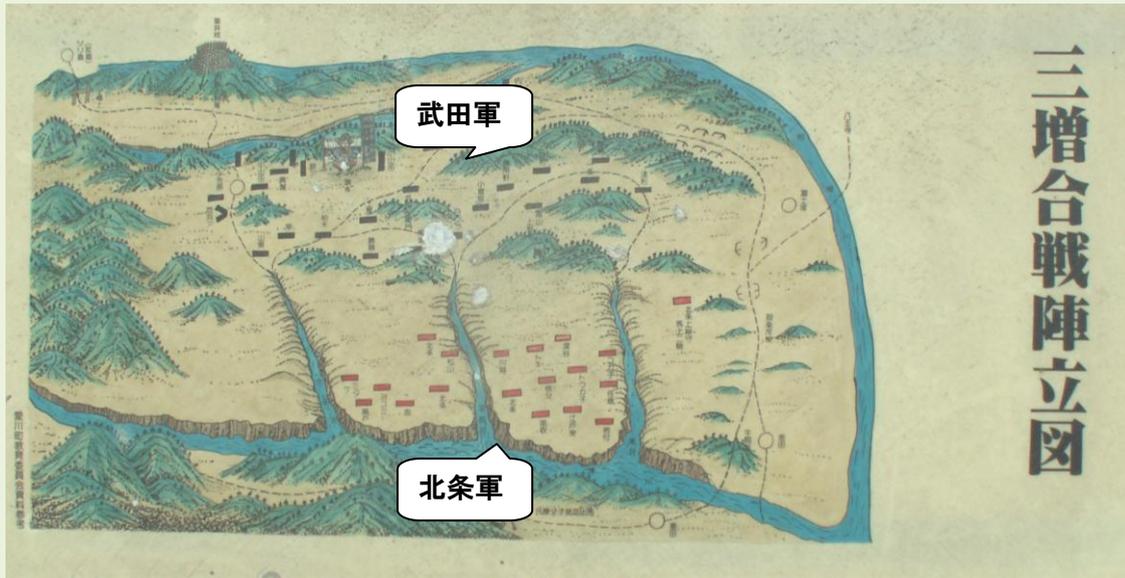


←甲州武田軍と小田原北条軍の「三増」の戦いの遺跡が見られる。「胴塚」で「首塚」は150m上にある
何の苗でしょうか? → 桑の木? 今も蚕を飼っている?



←「史跡三増合戦場」に到着しました。

⑤ **三増合戦**：ここで地形学のお勉強と昼食



←三増合戦にも河川が作った地形が良く活かされており
ます。

三増合戦のあらまし

永禄十二(二五六九)年十月、甲斐(今の山梨県)の武田信玄は、二万の将兵をしたがえて、小田原城の北条氏康らを攻め、その帰り道に三増峠をえらんだ。

これを察した氏康は、息子の氏照、氏邦、娘の夫綱成らを初めとする二万の将兵で三増峠で迎え討つことにした。ところが、武田軍の近づくのをみた北条軍は、半原の台地上に移り態勢をととのえようとした。

信玄は、その間に三増峠のふもと桶尻の高地に自分から進み出て、その左右に有力な将兵を手配りし、家来の小幡信定を津久井の長竹へ行かせて、津久井城にいる北条方の動きを押さえ、また、山県昌景の一隊を垂尾根に置いて、いつでも参戦できるようにした。北条方は、それに方々から攻めかけたのでたちまち激戦となった。そのとき、山県の一隊は志田峠を越え、北条軍の後ろから挟み討ちをかけたので、北条軍は総崩れとなって負けてしまった。この合戦中、武田方の大将浅利信種は、北条軍の鉄砲にうたれて戦死した。

北条氏康、氏政の親子は、助けの兵を連れて荻野まで駆けつけてきたが、すでに味方が負けてしまったことを知り、空しく帰っていった。



→「地形学断層編」の御勉強です！



• 三増合戦の武士達を偲んで大矢茶を捧、美味しく昼食を取りました。



↑志田峠に向う途中「武田信玄旗立松」東名厚木cc内にあり、イノシシ除け電線を跨ぎ、急斜面の坂道を上りました。ゴルフ場は土曜日でコースが詰まっている様子でした。



武田信玄旗立松の趾碑の解説文

右手に立っている「武田信玄旗立松趾碑」文は、日本紋章学の権威、沼田頼輔氏によるもので、概略、次のようなことが書かれています。

高峰村が津久井と接する北の境の山脈は延々と東西に広がっています。その中で最も険しいものを「中峠」と呼んでいます。くつきりと四方の展望が開け、麓の村に行き来する人馬は豆粒ほどにしか見えません。山の峰に一本の老いた松が青々と茂り、天に伸びています。里の人は、これを「武田信玄旗立松」と呼んでいます。言い伝えでは、永禄十二年十月八日、信玄が北条氏政の軍と当地で戦った折、本陣をこの峰に張り、旗をこの松の上に掲げたという由来により、こうした名称になったということです。つまり、この地こそは信玄が足跡を印した所であって、松の樹もまた信玄の心に触れたものということができます。それから三五の余年を経て、松に吹く風は、今をその余韻を伝える人々にその当時を偲ばせていたのですが、近年の火災により、惜しいことに昔からある老松をもう一度見ることはできなくなりました。

高峰村青年団諸君は、三三三の見の価値のある史跡を空しく消えてしまうことを惜しみ、石碑を立て、何時までも伝えようと考へ、その碑文を、私沼田頼輔に依頼してきました。この地は私が以前からよく遊んでいた所です。老いた松の姿もなお心に刻まれています。これまでのことを聞いて、感慨も更に切なるものがあり、よって拙さをも頼みます、この文を作りました。

昭和三年九月中旬
沼田頼輔撰
高梨貞義書

平成十年十月十日
愛川町教育委員会

・松は何代目か?の若木でしたが、眺め葉最高でした。

⑥武田信玄旗立松



↑有志18人で折れ曲がり急坂を登り、勝利を祝って集合記念写真ました。残留5人組は北条軍か？



↑三増合戦場は眼下で、北条軍陣地の動きは良く見えた事と思われる。遠くには、左から横浜ランドマークタワー・三浦半島・伊豆箱根・大山・高取山が見える。信玄公になり、地形学学習効果で、皆さん満足顔でした。
・下りは早い。足取り良くゴルフ場入り口で「北条軍」五人と合流して、和睦し「志田峠」に向いました。左側に志田川が流れている、杉林の林道を行きますと、道路脇に目につくのは「残土埋立反対」の看板でした。

⑦志田峠★「鞍部」と呼ぶ馬の背（鞍を置く位置）の様な地形のうち、人や車の交通する場所を「峠」と呼ぶ



↑先導、「東海道健脚3人娘」（田村邦子・響場洋子・藤原依子）が、グイグイ坂道を登り、山岡先生とカメラマン伊藤も後を付いて行くのにピッチアップ。↓後続組を振り返ると相当離れて少々息切れ気味・・・



・やっと到着した「志田峠」。期待した展望とは打って変わった風景に、皆さんガックリ！当初ここで昼食も考えていた所でした。残土処理場開発中で「人工地形破壊改造」のお勉強でした。標高310mです。しかし休憩を兼ねて地形学で「峠」の学習（先述★）をしました。

⑧朝日寺



急石段を登り本堂に着くと、犬2匹が大歓迎の吠え声でお迎え！残雪の中の紅梅で慰められ犬さんとお別れ



↑朝日寺から東京農工大農場へ向う。途中「河川争奪地形」を学習



↑トイレを探しながら歩き、皆さんが立っている所が「分水界」左側道路の左岸下に川有り右側畑は緩やかな扇状地。

⑨三等水準点5159 ↓



トイレ休憩に立ち寄り、お礼に皆さんアンパンを御土産に買いました。売上に御協力有難うございました。私も愛妻にアンパンを買いました。→



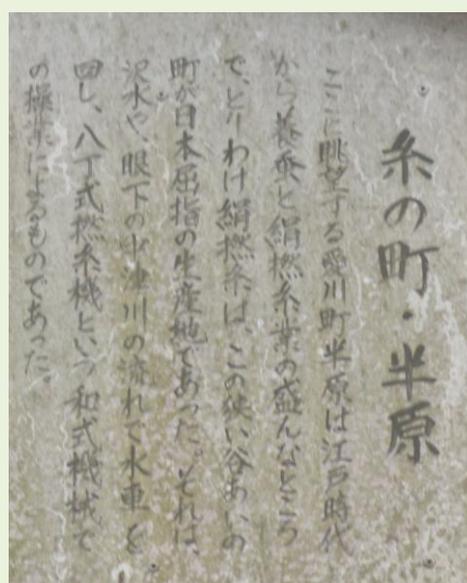
⑩服部牧場

・日比野分水嶺を見ながら**服部牧場**立ち寄りで、ショートカット



・アンパンの次はアイスクリーム、よく歩いたお礼に?・・・皆さん良く食べられます

⑪真名倉・半原：糸の町



↑一里坂を下り真名倉を抜けて、中津川を日向橋で渡り半原の街並みの中に、**糸の町の面影**を求めて歩く。

・神奈川県繊維工業組合をお探しの様子でしたが、通り過ぎたようです（私は気が付いていたのですが）。この周辺には繊維工場やレース工業と言った昔の「糸」の町の面影がまだ残ってありました。

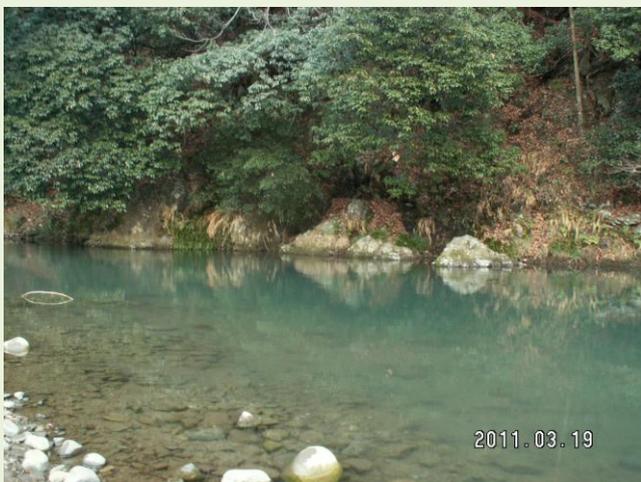
⑪半原神社



出口側工事中通行止めの原下水道路トンネルを通り抜け、2つ目は完全に立ち入り禁止でした。



- 予定の橋の麓バス停到着 16:15、バス時刻 16:50 まで待ち切れず道路合流点まで歩く事になった。藤崎さんジョッキングを兼ねて先に行きバスを止めて待ってくれる？流石神奈川ウォーキングクラブまだまだ余力あります。中津川の清流を左に見ながら急ぎ足でトンネルを抜け、馬渡バス停到着、時刻表見ると、16:55 発で結論は同じバスでした。お陰様で時間十分有り、綺麗な清流の河原で石投げ遊び、田村さんによるクールダウンストレッチをして、吉越Lから連絡事項と、山岡先生に拍手でお礼をしてバスに乗りました。



- 大昔から自然が壊し創りだした美しい川や丘陵を、地図から学び、感動と興味を持って探索ウォーキングしました。正しく<カ：感動、キ：興味、ク：工夫、ケ：健康、コ：恋>のプラチナ人生の楽しい一日でした。山岡先生に厚くお礼申し上げます。吉越L他皆さん、楽しいウォーク有難うございました。
- 駅前「さくら水産」で山岡先生へ感謝のお礼と、今日の良く勉強し歩いた吾身に御褒美の反省会を有志9人でやりました。ビールと熱燗で合理的に、(運営会議も兼ねて?) 1次会1軒だけで楽しく終わりました。P12